

兵庫県細胞検査士会 メールジャーナル

2025年
1月号

【目次】

1. 新年のご挨拶
2. お知らせ
3. 役員・地区委員のコラム（西播地区委員 坂本）
4. せるツイート
5. 編集後記（ジャーナル担当）



1. 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和7年（2025年）の干支は巳（蛇）年ですが、本来の干支でいうと乙巳（きのと・み）です。柔軟性と適応力を象徴する「乙」と、再生と変化を意味する蛇を表す「巳」が組み合わさっています。

干支とは本来「十干十二支（じっかんじゅうにし）」を略した呼び名で、「十干（じっかん）：甲（こう：きのえ）、乙（おつ：きのと）、丙（へい：ひのえ）、丁（てい：ひのと）、戊（ぼ：つちのえ）、己（き：つちのと）、庚（こう：かのえ）、辛（しん：かのと）、壬（じん：みずのえ）、癸（き：みずのと）の総称で、もとは1から10までものを数えるための言葉」と「十二支：子（ね）、丑（うし）、寅（とら）、卯（う）、辰（たつ）、巳（み）、午（うま）、未（ひつじ）、申（さる）、酉（とり）、戌（いぬ）、亥（い）」と、その年を12種類の動物になぞらえたもの」の組み合わせを指す語です。10と12の最小公倍数は60なので、干支が一周しているという意味で、60年で暦が還ってくる60歳を「還暦」と言われる所以です。

そう言えば、医療の象徴であるギリシア神話に登場する名医アスクレピオスが持っていた杖には蛇が巻きついています。蛇は、脱皮を繰り返して生き延びることから「再生」や「治癒」を象徴し、アスクレピオスの治療力のシンボルとなったそうです。そのため、この杖は後に医療・医術の象徴としても広くもちられるようになり、1948年に設立した世界保健機関（World Health Organization: WHO）のマークに使われている杖も「アスクレピオスの杖」が由来です。

このように、巳年は「新しい自分に生まれ変わる」ことがテーマになる年だといえると思います。2025年12月には兵庫県担当で近畿連合会学術集会が開催されます。ですので、兵庫県細胞検査士会として、現状に満足せず、新しい取り組みの学術集会、新しい形の研修会やワークショップを提供したいと考えております。役員（理事）そして地区委員が一丸となって臨みますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

今後とも会員の皆さんと共に歩んでいきたいと思っています。

令和7年（2025年）1月吉日
兵庫県細胞検査士会 会長 鳥居良貴



アスクレピオスの杖



世界保健機関（World Health Organization: WHO）

2. お知らせ

- 1) 細胞診断能力開発プロジェクトについて
- 2) 第23回泌尿器細胞診(別府)カンファレンス学術集会 in 神戸 について
- 3) 第16回神戸甲状腺診断セミナーのご案内
- 4) 令和6年度(2024年度)第41回兵庫県臨床細胞学会総会・第24回兵庫県細胞検査士会総会のご案内

1) 第2回 細胞診断能力開発プロジェクト(プロジェクトABCD)について: 兵庫県細胞検査士会 会長 鳥居良貴

いつも兵庫県細胞検査士会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。
兵庫県細胞検査士会メールジャーナルにもご案内しております「ABCDプロジェクト」。
このプロジェクトはセルフスタディとして、Self-Study Survey(自己学習のための細胞テスト)を目的に
教育的視野から自己学習を行う形式として実施しております。
もちろん外部精度管理ではなく、また強制でもなく自由参加な自己学習テストです。
「第2回ABCDプロジェクト」を届けさせていただきます。
既に兵庫県細胞検査士会ホームページ(<http://hyogoct.com>)のトップページにあります「症例検討」に
公開しております。
症例検討 → パスワード入力くださいとありますから、半角にて下記入力ください。

8AQ4hd63eF

第1回と同様に、実際に試行していただき、ご意見ご感想がございましたら本メーリングリストに
お寄せください。よろしくお願ひいたします。



2) 第23回泌尿器細胞診(別府)カンファレンス学術集会 in 神戸について

【開催要項】

会期：2025年2月15日 13:00～17:00 / 2月16日 8:30～12:30

テーマ：尿細胞診と尿沈渣の連携 ～相互理解と協力による尿検査の臨床的意義の向上～

会長：大崎 博之（神戸大学大学院 保健学研究科）

副会長：塚本 龍子（神戸大学医学部付属病院 病理部）

実行委員長：大沼 健一郎（神戸大学医学部付属病院 検査部）

事務局長：小林 真（兵庫県臨床検査研究所）

開催場所：神戸大学医学部会館(システムズホール)
兵庫県神戸市中央区楠町7-5

開催形式：ハイブリット開催（現地 + オンライン）

単位：細胞診専門医(1単位)

細胞検査士(JSC:10単位、IAC:8単位)

認定病理検査技師(認定番号24-026[A25、D5])

認定一般検査技師(認定番号24-015)

参加登録期間：2024年11月11日～2025年1月31日

募集定員：会場 200人

オンライン(リアルタイム+オンデマンド) 500人

参加費：(カンファレンス会員) 3000円

(非会員) 5000円

プログラム等その他の詳細につきましては兵庫県細胞検査士会HPのお知らせにてリンクを掲示しますのでそちらからご覧ください

<https://hyogoct.com/>

3) 第16回神戸甲状腺診断セミナーのご案内

会期: 2025年2月15日(土) ~ 16日(日)

15日(土) 13:00 ~ 18:00 【講演】

会場: 神戸国際会議場

講演 テーマ「甲状腺疾患診断の KNACK & PITFALLS 」

16日(日) 【実習】

会場: 神戸大学医学部病理組織第2実習室

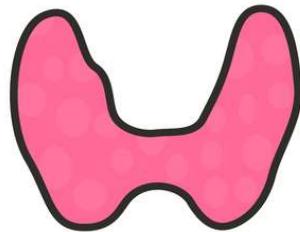
午前の部: 8:45 ~ 12:30 (定員先着100名)

午後の部: 12:45 ~ 16:30 (定員先着100名)

1. 甲状腺細胞診のライブビデオチュートリアル
2. 甲状腺病変55例(組織と細胞診)の顕微鏡実習

詳細はホームページをご覧ください。また下記URLよりご登録ください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/ff748c6b257821>



4) 令和6年度(2024年度)第41回兵庫県臨床細胞学会総会・第24回兵庫県細胞検査士会総会のご案内

日時: 2025年3月8日(土) 13:30 ~

※ 13:10より受付開始

会場: 神戸市教育会館(現地開催のみ)

※ 詳細は後日ご案内します。

3. 役員・地区委員のコラム

「元旦ルートイーン」

西播地区委員
赤穂中央病院 坂本 慎一

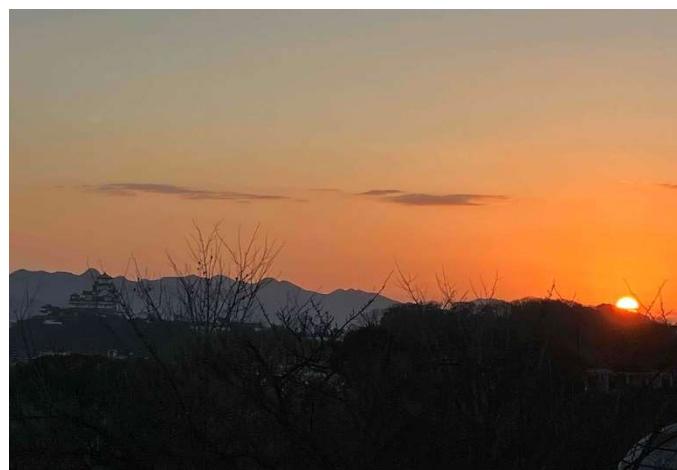
明けましておめでとうございます。2025年となりました。皆さんはどんなお正月を迎えられましたか？今回、私の毎年同じ元旦の過ごし方を紹介したいと思います。

まず、元日の午前6時40分に起床し、朝の歯磨き・洗顔など支度をします。支度が済み次第、二人の息子を起こします。息子の準備が整ったら、近くの山？岡？へ、初日の出を見にいくため家を6時50分頃に出発します。山まで約10分程度の道のりを寒さに耐えながら歩いて行きます。7時頃に山の麓に到着します。そこから、145段（今年数えました…）ある階段を上ります。起床してからまだ20分しか経っていない老体にはかなりキツい試練です。100段あたりから突然足が動かなくなり、手すりを持ちながら、死に物狂いで上ります。上ったら息を整えるために、1分程度休憩し、ご来光の見えるベストポジションまで歩きます。今年は7時9分の予定でしたので、なんとか間に合いました。（写真は右にご来光、左端に姫路城です。）数分、ご来光のPowerを浴びながら、一年無事に過ごせるように祈願し、家路につきます。下りは上りと比べて楽なので、軽快に話しながら帰ります。

家についたら、妻の準備が整い次第、初詣へ車で行きます。姫路城の近くにある神社に参拝しにいくのですが、そこは結構人が集中する神社なので少しでも遅れると人があふれかえってしまいます。時間との勝負です。神社の近くの駐車場に8時前に到着し、神社に参拝します。御守りと御神籤を購入、今年は長男と一緒に「凶」でした。「今が底辺で上がるしかない」というお決まりの文句で長男と自分を慰めながら、神社を後にしました。

これが、私の元旦のルートイーンです。今年で5年同じルートイーンで新年を迎えています。ご来光のお蔭？で、毎年大きな怪我や大病もなく、健康に過ごせています。これからもルートイーンを崩さず、145段の階段が上れる限り続けて行こうと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。



4. せるツイート



～様々な角度から見てみよう～

「せるツイート」では、基本症例から難解症例、背景の物質や、油浸でみる細胞など様々な細胞像をゆる～いソリで出題または紹介いたします。

色々な角度から見た細胞像を気軽に共有しませんか？

もしかしたら、新たな発見があるかも！？

気になる細胞を「クイズ形式」や時には逆に教えてくださいと、「なげかけ形式」で紹介したいと思います。

※奇数月は問題、偶数月は回答やご意見を掲載いたします。

症例19はこちら↓

これは何でしょうか？

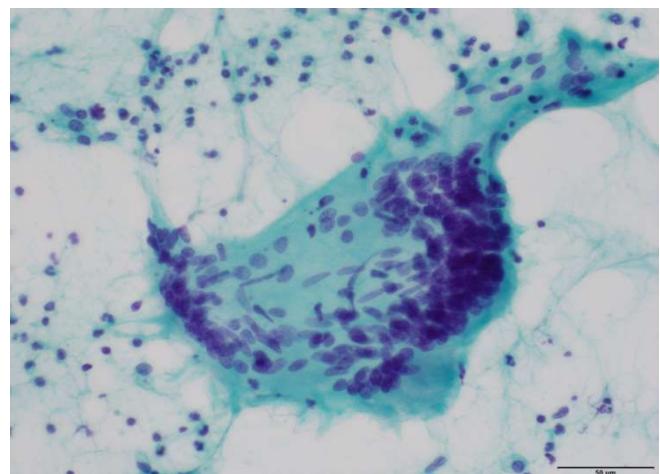
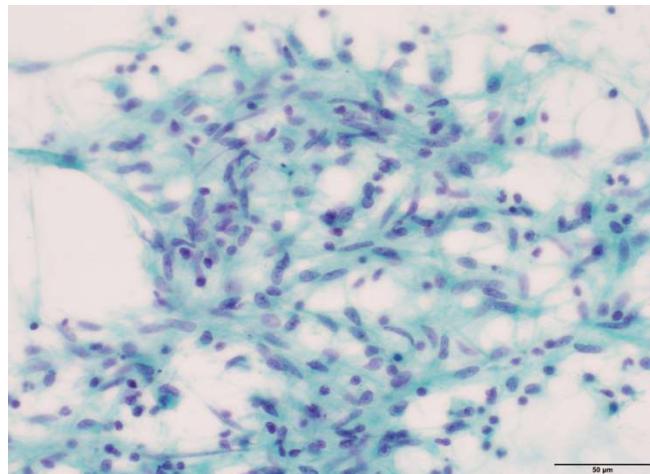
＜症例19＞

年齢:30歳代

性別:女性

臨床所見:乳房の発赤・腫脹。出産後2年6ヶ月、
授乳終了後1年6ヶ月の状態。

採取方法:乳房 穿刺吸引



どちらの写真も対物40倍

5. 編集後記

ジャーナル担当:阿部、上山、岡田、片山、小林、坂本、濱武、山口

明けましておめでとうございます。

2025年最初のメールジャーナル配信となります。

2024～2025年の年末年始の休みは最大9連休でした。これは2019年以来5年ぶりみたいです。

皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか？帰省された方、遠方に旅行された方、仕事された方いろいろな方いらっしゃるかなと思います。

ちなみに2025～2026年も最大9連休みたいです！(12月27日～1月4日)

…まあこんだけ連休が続くとどこかで1日(2日？)勤務に出ないといけませんけどね。

寒い日が続きます、健康管理に気を付けつつ今年も何卒よろしくお願ひいたします。



※兵庫県細胞検査士会では、

メーリングリストへの登録をお願いしています！

兵庫県細胞検査士会メーリングリストでは、メールジャーナルを初め、勉強会等、様々な情報を配信しています。

ご職場やお知り合いの方などで、登録が未だの方がいらっしゃれば、ぜひこの機会にお勧め下さい！
皆様のご協力をお願ひいたします。

メーリングリストへのご登録、変更および登録解除はこちらから↓

兵庫県細胞検査士会 メーリングリスト

<https://hyogoct.com/con/index.php/hui-yuan-xiang-ke/ml-info>

兵庫県細胞検査士会へのお問い合わせはこちらから↓

<https://hyogoct.com/con/index.php/office>

兵庫県細胞検査士会ホームページ↓

<https://hyogoct.com/con/index.php>

